

廊下の床面誘導灯で、段差ができないように気を使いました。



信州電機株式会社
取締役営業部長

岡田 勇一さま

この施設は広域6町村が建てたもので、今までの施設が老朽化したために新しく現在地に建てられたものです。木をふんだんに使い、さらに照明は電球色を多用して温かみを出しています。気を使った所といえば、廊下の床面に誘導灯を設置したんですが、床板の板厚が12mmで誘導灯の枠が20mmだったんですよ。老人ホームということもあり、ちょっとでも段差ができてしまうといけない。何しろ入居されているお年寄りがつまづいたりしたら一大事です。そこで水平レベルを均一に保つために、先に枠を埋め込んで、あとからけずって差し込む形をとりました。床面は木で伸縮しますからどうしても段差は出てくるんですが、その差をなるべく小さくするように施工しました。



食堂：4灯用55Wユーライン埋込器具を設置。ランプは電球色を使用している



廊下誘導灯：お年寄りの視認性を考慮し、床に埋め込まれている



廊下：2灯用27Wユーライン埋込器具を使用。手洗いコーナーは間接照明としアクセントをつけている



建築化照明と32Wユーライン3ダウンライト（電球色）により、温かみとグレード感を出した玄関ホール



■ 施工物件

養護老人ホーム 佐久良荘

■ 建物の概要

所在地：長野県北佐久郡望月町大字望月285-2

延床面積：4,071.48m²

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上2階建

設計・監理：株式会社エーシーエ設計

施工／建築：(株) 竹花組

／電気：信州電機(株)

竣工：平成15年2月

みをプラス。やすらぎの空間を演出。



交流ホール：食堂と同様、4灯用55Wユーライン埋込器具（電球色）を配置



交流ホールステージ：ステージ用照明として、2灯用Hf32W蛍光灯ランプ埋込器具調光形（ルーバ付）を設置



白樺の間：交流ホールに付設する和室スペース。部屋に合わせ和風シーリングライトを設置

人と安全を大事にする。 これが我が社のモットーです。

我が社では新設の工事はもちろんですが、保守管理を特に重視していますね。そこで信州電材興業株式会社という子会社を作り、専門に対応させているんですよ。年4回は定期的にお伺いするほか、大都市ではない、地元密着型であるということを活かし、設備と電気に関しては、お客さまから故障の連絡が来たら1~2時間以内に現場に着くように心がけています。それと昔は当番制で朝礼をやっていたのを今は月曜日だけにしまして、そのぶん現場に顔を出すようにしたり。やはりこの仕事は現場が営業ですから、お客さまには必ず声をかけるようにする。我が社のモットーでもあるのですが、“人と安全を大切に”は仕事上の鉄則ですね。



信州電機株式会社
代表取締役

黒柳 貞夫さま



長野県／望月町
信州電機株式会社

■ 会社のプロフィール
所在地：長野県北佐久郡望月町望月133番地
従業員：28名
営業種目：電気工事業・消防施設工事業・
電気・消防保守管理業務
年間工事高：6億5千万円
創立年：昭和28年10月